

卒業論文および修士論文要旨執筆要領

Ver.1.02

1. 記述内容

講演要旨は、論文発表内容を的確に短くまとめられたものであるが、それ単独でも研究報告として討論・保存に耐えられるように論文内容を記述すること。講演要旨に記述される内容と順序は、一般には目的、方法、結果、考察、結論である。ただし、修士論文計画発表については目的、レビュー、方法等に力点が置かれることや、他の場合でも論文の性格によってもやや形式が異なる場合があるので、必ずしもこの限りではない。

2. 要旨のページ数および印刷面

- (1) 卒業論文 中間発表要旨 : A4、 $\frac{1}{3}$ ページ。3名分で1ページ使用。
書き方は、「3. 原稿体裁 - その1 - 」に記述。原稿執筆事例は例1。
- (2) 卒業論文 最終発表要旨 : A4、2 ページ。両面印刷。
書き方は、「4. 原稿体裁 - その2 - 」に記述。原稿執筆事例は例2。
- (3) 卒業論文要旨集要旨(製本版) : A4、2 ページ。片面印刷。
書き方は、「4. 原稿体裁 - その2 - 」に記述。原稿執筆事例は例2。
- (4) 修士論文 計画発表要旨 : A4、4 ページ程度。両面印刷。
書き方は、「4. 原稿体裁 - その2 - 」に記述。原稿執筆事例は例2。
- (5) 修士論文 中間/最終発表要旨 : A4、4 ページ。両面印刷。
書き方は、「4. 原稿体裁 - その2 - 」に記述。原稿執筆事例は例2。
- (6) 修士論文要旨集要旨(製本版) : A4、4 ページ。片面印刷。
書き方は、「4. 原稿体裁 - その2 - 」に記述。原稿執筆事例は例2。
- (7) 修士論文要旨集英文 abstract(製本版) : A4、1 ページ以内。片面印刷。
書き方は、「5. 原稿体裁 - その3 - 」に記述。原稿執筆事例は例3。

3. 原稿体裁 - その1 - 例1 「前記 2 - (1) の原稿に適用」

- (1) MSワード等で以下の要領で電子ファイルを作成する。
- (2) A4用紙に設定し、MS明朝、10ポイント、1行45文字で記述する。
- (3) 1行目に左寄せで学籍番号、2文字空けて、和文標題、学生氏名(指導教官名)を記述する。学生氏名と指導教官名については右寄せにする。2行目に左寄せで英文標題を書き、3行目に左寄せでKeywords:と書き、半角空けて英語キーワードを3~5語記述する。本文は、4行目から13行目までの10行以内で記述する。なお記述できる文字数が少ないため、副題をつけることは極力避ける。

4. 原稿体裁 - その2 - 例2 「前記 2 - (2) ~ (6) の原稿に適用」

- (1) 図表等鮮明な原稿になるよう各自留意すること。
- (2) 用紙はA4縦の白紙を用い、マージンを左右25mm、上下30mmとし、その枠内に全ての文字、図表および図表説明文、凡例(Legend)を収めること。本文の1ページ文字数は、下記のMS明朝、10.5ポイントを使用した場合、45文字×37行(=1665文字)になる。
- (3) 第1ページの書き出しは、1行目中央に和文標題、2行目中央に英文標題、1行空けて4行目に右寄せで学籍番号、1文字空け、氏名を書く。5行目に左寄せでKeywords:と書き、半角空けて、英文キーワードを3~5語程度記入し、6行目から本文を書き出す。なお、副題がある場合は、上記フォーマットにおける和文標題の次行中央に和文副題が、英文標題の次行中央に英文副題が挿入される。副題の文頭と文末にはハイフン()を備える。第2ページ以降は、1行目左端から本文を書く。
- (4) フォントは、氏名、本文については明朝体(MS明朝など)を使用し、和文標題、和文副題、見出し項目についてはゴシック体(MSゴシックなど)を使用する。英文標題、英文副題については、Times New Roman、ボールド(太字)を使用し、Keywords:および学籍番号についてはTimes New Roman、プレーン(装飾なし)を使用する。フォントサイズは和英とも全て10.5ポイントを標準とするが、やむを得ない場合は10ポイントもしくは11ポイントも可とする。

5. 原稿体裁 - その3 - 例3 「前記 2 - (7) の英文 abstract に適用」

- (1) 用紙はA4縦の白紙を用い、マージンを左右25mm、上下30mmとする。1ページ約37行になるような行間隔を標準とする。
- (2) 1行目中央に英文標題、1行空けて3行目に右寄せで学籍番号、半角空け、学生氏名を書く。学生氏名の書き方は、例3のように姓、名の順に書き、姓と名の間をコンマ(,)と半角スペースで区切る。姓はすべて大文字で、名は最初の文字のみ大文字にする。4行目に左寄せでKeywords:と書き、半角空けて、英文キーワードを3~5語程度記入し、5行目から本文を書き出す。段落の書き出しは、左のマージンからおよそ5文字分の字下りをとる。
- (3) フォントとサイズは、Times New Roman、12ポイント、プレーン(装飾なし)を標準とする。ただし、英文標題、英文副題はボールド(太字)で、Keywordについては本文よりやや小さい10ポイントにして、より読みやすくする。

6 . 避けた方が良い書き方

(1) ゴシックフォントのボールド (太字) 体

「和文標題、和文副題、見出し項目についてはゴシック体 (MS ゴシックなど) を使用する。」とあり、これにさらに強調したいという意志が働くのかどうかわかりませんが、**和文標題等のフォントをゴシックにして、なおかつボールド (太字) スタイルを選択している要旨を見かけます** (MS ゴシック + ボールド) 。ゴシックフォントで十分強調されており、このスタイルは文字がつぶれて読みにくくなります。

(2) 句点直後の半角スペース

英語を書く場合、コンマ (,) やセミコロン (;) コロン (:) の直後は、必ず半角スペースが入ります。これはキーワードを書く場合でも同じです。

良い例) Keywords: Composting , Kitchen residue, Sawdust

悪い例) Keywords:Composting ,Kitchen residue,Sawdust

例 1

983456 閉鎖型苗生産システムのエネルギーおよび物質収支
Energy and Mass Balance of a Closed-Type Transplant Production System
Keywords: Closed system, Water balance, Evapotranspiration, CO₂ balance
近年、苗生産と

農環太郎 (齊藤次郎)

4 行目

・
・

13 行目

例 2

(副題がない場合)

厨芥コンポスト化反応の促進方法
Acceleration of Kitchen-Residue Composting Rate

[1 行あけ]

983456 農環尚美

Keywords: Composting , Kitchen residue, Sawdust

1 . 研究目的

厨芥のコンポスト化は、

であると考え、これを検討することを目的とした。

2 . 実験方法

1) 実験装置 反応槽には 製の を用い

。

(副題がある場合)

厨芥コンポスト化反応の促進方法
おが屑添加の効果
**Acceleration of Kitchen-Residue Composting Rate
-Sawdust as a reaction accelerator-**

[1 行あけ]

983456 農環尚美

Keywords: Composting , Kitchen residue, Sawdust

1 . 研究目的

厨芥のコンポスト化は、 …。

例3

(副題がない場合)

Heat Production Rate during Composting of Dairy Manure

[1行あけ]

983456 NOKAN, Taro

Keywords: Composting , Heat production, Dairy manure

This paper describes heat production rate during composting. The information about the reaction rate is.....The results show that the heat production rate, calculated using the thermal properties of the waste, is a more appropriate.....

(副題がある場合)

**Heat Production Rate during Composting of Dairy Manure
-Calculation of heat generation using a mathematical model-**

[1行あけ]

983456 NOKAN, Taro

Keywords: Composting , Heat production, Dairy manure

This paper describes heat production rate.....